

小3算数 時こくと時間

対象学年	小3	教科	算数	難易度	★☆☆☆
単元	時こくと時間				
課題	<p>時こくと時間は、みなさんのまわりにいろいろ使われています。時こくと時間について考えてみましょう。</p> <p>(1) 午前8時30分から10分間読書すると何時何分になります。</p> <p>(2) 午前10時30分から午前10時50分までが休み時間です。休み時間は何分間ですか。</p> <p>(3) 昼休みがおわる5分前に合図のチャイムが一度なります。昼休みは午後1時25分に終わります。合図のチャイムは何時何分になりますか。</p> <p>(4) 体育の時間に「2分間なわとびをしましょう」と言われました。2分間は何秒ですか。</p>				
課題の説明	<p>みなさんのまわりでは、何時何分という時こくや、あと何分といった時間がたくさん使われています。学校生活の中で使われている時こくや時間について考えてみましょう。イメージを持つために時計をかいいたり、時こくと時間を表した数直線を使ったりしてといてみましょう。</p>				
ヒント	<p>(1) 10分間読書をするときこくは進みますか、もどりますか、考えてみよう。</p> <p>(2) どちらも同じ午前10時です。時こくの「分」に注目してみよう。</p> <p>(3) 5分前の「前」を考えてみよう。</p> <p>(4) 「1分=60秒」が使えるそうですね。</p>				

対象学年	小3	教科	算数	難易度	★★☆☆
単元	時こくと時間				
課題	<p>みなさんのまわりの生活の中で使われている時こくや時間について考えてみましょう。</p> <p>(1) 午前7時45分に集合して学校に行きます。学校までは20分かかります。学校に着くのは何時何分ですか。</p> <p>(2) 午前7時45分に家を出て、午後3時30分に家に帰ります。家を出てから帰ってくるまでの時間はどれだけですか。</p> <p>(3) 社会の校外学習で町のけいさつしょに見学に行きます。学校からけいさつしょまでは歩いて35分かかります。午前10時15分にけいさつしょに着くためには何時何分に学校を出発するとよいですか。</p> <p>(4) プロサッカーの1試合の時間は、前半45分、ハーフタイム（休けい）15分、後半45分です。全部で何時間何分ですか。</p> <p>(5) 他のスポーツの試合時間も調べてみましょう。</p>				
課題の説明	<p>身近な場面の時こくや時間をもとめます。もとめるときには、実さいに時計をかいいたり、時こくと時間を表した数直線を使ったりしてみましょう。特に、時間は60分をこえるとまた1分からはじまるので気を付けましょう。また、時間が進むのか、もどるのかを考えて問題をときましょう。</p>				
ヒント	<p>(1) 午前8時までにかかる時間を考えてみよう。</p> <p>(2) 午前の時間と午後の時間に分けて考えてみよう。</p> <p>(3) 35分かかりますということは、午前10時15分よりも進むのか、もどるのかを考えてみよう。</p> <p>(4) 1時間は何分を考えるとできそうですね。</p> <p>(5) ラグビーやバスケットボールの試合時間を調べてみよう。</p>				

対象学年	小3	教科	算数	難易度	★★★☆☆		
単元	時こくと時間						
課題	(1) 体育の時間に持ちゅう走をします。3年生はグラウンドを6周走ります。Aさんの1周ごとの時間は次の表のとおりです。						
	1周目	2周目	3周目	4周目	5周目	6周目	合計
	45秒	45秒	47秒	53秒	51秒	49秒	
	□ Aさんの合計時間は何分何秒ですか。						
課題	(2) Bさんの1周ごとの時間は次の表のとおりです						
	1周目	2周目	3周目	4周目	5周目	6周目	合計
	44秒	47秒	47秒	49秒			
	□ Bさんがのこり2周を何秒よりはやく走れば、Aさんの合計時間をこえることができますか。						
課題	(3) Cさんは目ひょう時間を5分5秒にし、1周の時間をすべて51秒で走る計画を立てました。この計画では、Cさんは目標の5分5秒をこえることはできますか。こえる、こえないの理由も書きましょう。						
	課題の説明						
	体育の持ちゅう走の場面をそうぞうしましょう。1周目から6周目までの合計時間をもとめたり、くらべたりして問題をときます。そのときには、式を使ってもとめるとよいでしょう。 また、(3)のように「こえるのか、こえないのか」の理由を書くときは、相手にわかりやすく伝えるためにも式や数を使うこと、「まずは」、「次は」、「だから」というじゅんばんを表す言葉を使って書いてみましょう。						
	ヒント						
(1) 1分は何秒かを考えてみましょう。 (2) Aさんの合計時間よりはやく時間で走ろうとすると、Bさんの4周目までの合計時間を求めてから、のこりひつような時間を考えてみるのはどうでしょうか。 (3) 6周でかかる時間と5分5秒をくらべると、こえるかこえないかが分かりますね。							

対象学年	小3	教科	算数	難易度	★★★★
単元	時こくと時間				
課題	<p>これからの社会は、今までいじょうに世界を行き来する時代になります。みなさんも将来の仕事によっては、海外に行くこともあります。けれども世界の国々は、それぞれの時こくで生活をしていて、日本の時こくとは違います。むずかしい言葉で時差（じさ）と言います。</p> <p>そこで、この時差を考えながら世界の国の時こくをもとめてみましょう。</p> <p>(1) 中国の首都（しゅと）はぺきんです。日本の時こくはぺきんの時こくより1時間はやくになります。つまり、日本で午後7時は、ぺきんでは午後6時となります。</p> <p>日本の関西空こうを午前9時30分に出発し、3時間35分後にぺきんの空こうに着きます。ぺきんの空こうに着いた時こくはぺきんの時こくで何時何分になりますか。</p> <p>また、どのようにしてもとめたのか理由も書きましょう。</p> <p>(2) アメリカにあるハワイは日本でも人気の場所です。日本の時こくはハワイの時こくより19時間はやくになります。とても時差が大きな場所です。</p> <p>日本の関西空こうを午後9時に出発し、7時間50分かけてハワイのホノルルにある空こうにとう着します。ハワイにとう着した時こくはハワイの時こくで何時何分ですか。</p> <p>また、どのようにしてもとめたのか理由も書きましょう。</p>				
課題の説明	<p>中国やアメリカのことは5年生になってから学びますが、ここでは、生活にひつような時こくと時間の間だいを考えてみます。時差という言葉聞くのもはじめてかもしれませんが、みんながこれまで学習してきた算数の知しきを使えばもとめることができます。</p> <p>気を付けることは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時こくを聞かれているのか時間を聞かれているのかを考えること。 ・午前か午後かに気を付けること。 ・時間は進むのかもどるのかを考えること。 <p>です。では、ステップに沿って考えてみましょう。</p> <p>また、この学習をきっかけに他の国の時差も調べてみましょう。</p> 				
ヒント	<p>ステップ1 出発するときのそれぞれの国の時こくを日本の時こくで考えましょう。このとき、午前と午後に気を付けましょう。また、日本の時こくがそれぞれの国の時こくよりもはやいということは、時こくは進むのか、もどるのか考えてみましょう。</p> <p>ステップ2 ひこうきの時間を考えましょう。</p>				